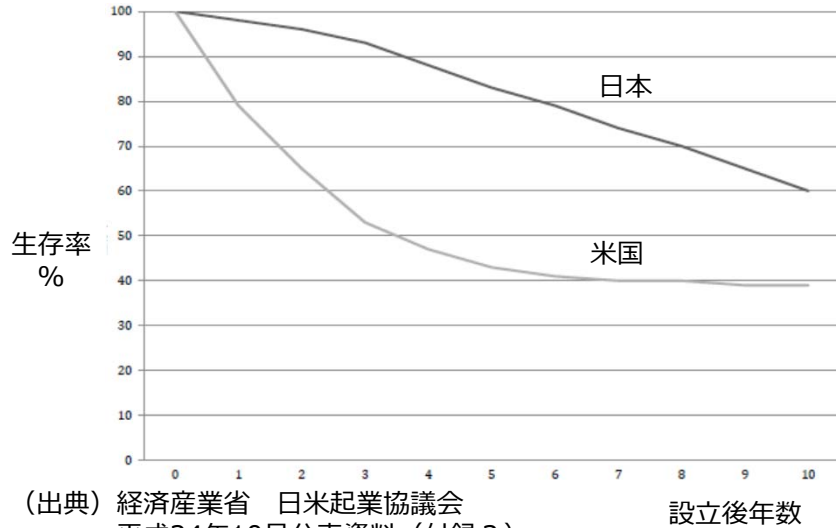


図 30 国内ベンチャー新規設立数減少と企業のターンオーバーへの影響 2.(2) -1

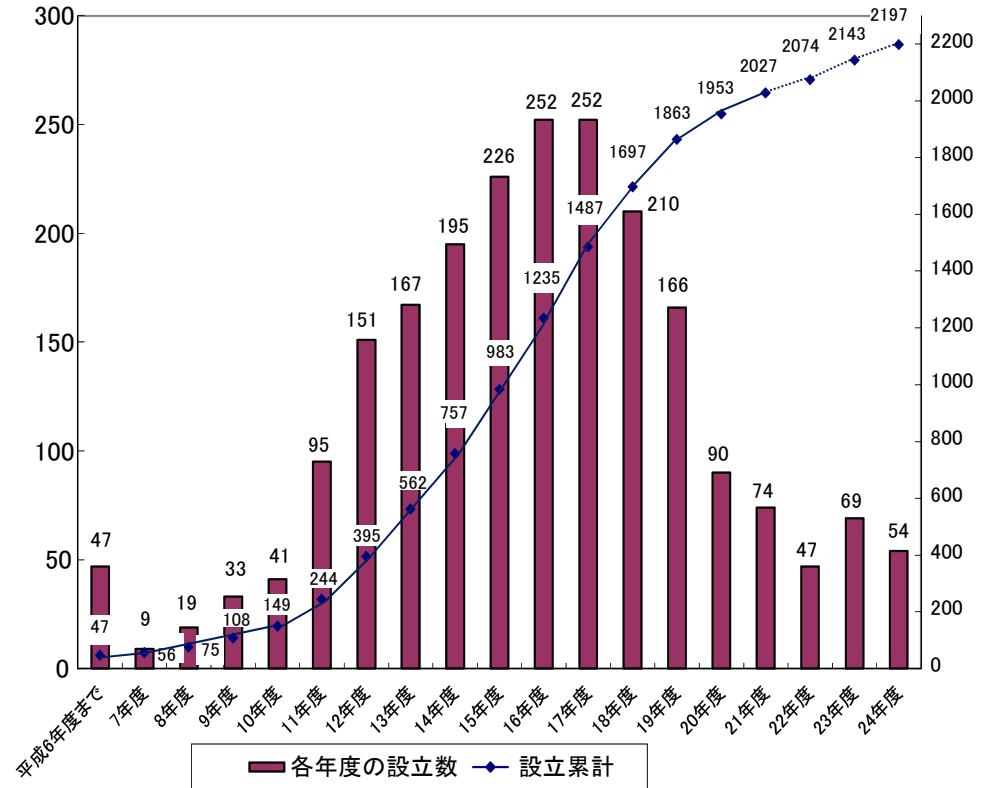
○平成16年度には企業数累積1千社を超えたが、18年度以降各年度の設立数が減少傾向。その多くは休眠状態と推定。米国同様に企業の開業率を高めて新陳代謝を活発化する必要。

<企業の生存率 日米比>



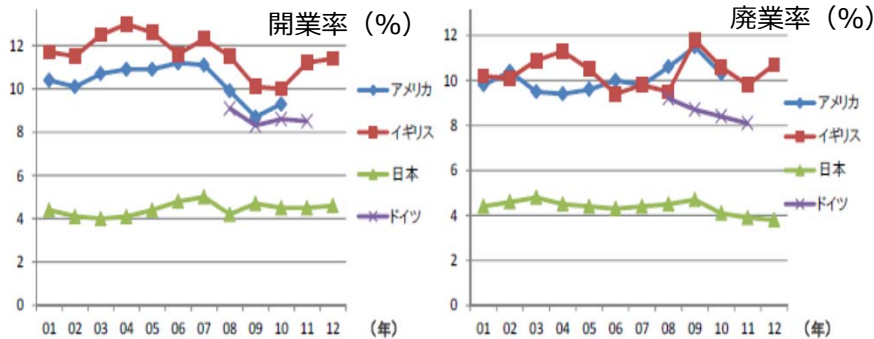
(出典) 経済産業省 日米起業協議会
平成24年10月公表資料 (付録3)

<大学発ベンチャー企業の設立累計>



- ※ 平成21年度実績までは文部科学省科学技術政策研究所の調査によるものであり、平成22年度以降の実績は本調査によるもののため、設立累計を点線とした。
- ※ 平成22年度以降の実績は、当該年度に設立された大学等発ベンチャー設立数のみを調査し、科学技術政策研究所の平成21年度実績までのデータに合算している。
- ※ 設立年度は当該年度の4月から翌年3月までとし、設立月の不明な企業は4月以降に設立されたものとして集計した。
- ※ 設立年度の不明な企業9社が平成21年度実績までにあるが、除いて集計した。

<企業の開廃業率国際比較>



(資料) 中小企業白書(原データ: 日本・厚生労働省「雇用保険事業年報」(年度ベース)、アメリカ・U.S. Small Business Administration「The Small Business Economy(2012)」、イギリス・Office for National Statistics「Business Demography(2011)」、ドイツ・Statistisches Bundesamt「Unternehmensgründungen, -schließungen: Deutschland, Jahre, Rechtsform, Wirtschaftszweige」)

出典: 文部科学省「平成24年度 大学等における産学連携等実施状況について」を基に、文部科学省作成